

(この便りは、相双建設事務所と富岡土木事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆新地町内の復旧・復興事業の状況をお伝えします。

相双建設事務所では現在、新地町内の国道6号から沿岸部にかけて海岸・河川の堤防復旧工事や道路整備工事を鋭意進めているほか、12月6日に開通する常磐自動車道の新地IC部においては、料金所へのアクセス道路工事を急ピッチで進めております。

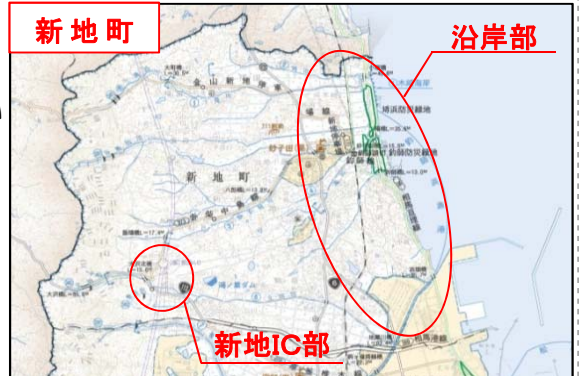
沿岸部では海岸堤防を震災前から1.0mかさ上げするほか、内陸部に隣接して幅100mを越える防災緑地を整備します。

また、県道相馬亘理線を新地駅付近を通過するよう見直した上で、高さ約9mの高盛土構造とする予定です。

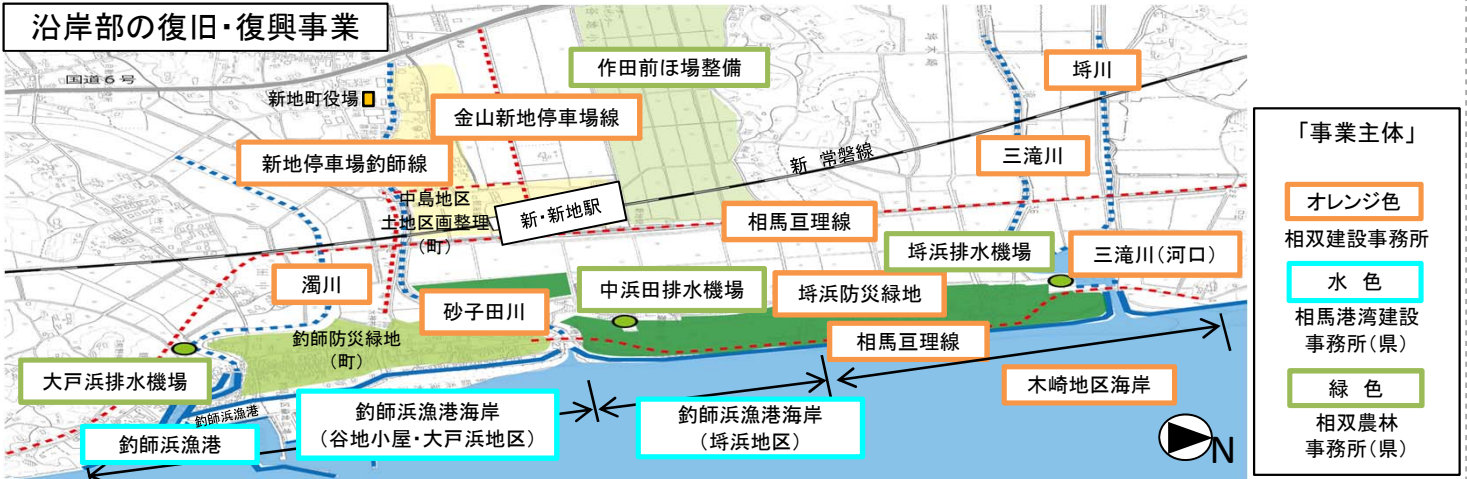
こうした複数の施設の整備により大津波からまちを守れるよう、日々工事を進めております。

このほかにも沿岸部では、釣師浜漁港や排水機場の復旧工事などが進められているため、関係機関と連携し、工事車両の徐行を励行するなど安全かつ円滑に工事を進め、一日も早く安心できる生活環境を確保してまいります。

(今回は、1月、7月、9月に紹介した海岸・河川事業や防災緑地事業の現在の状況と新地IC部のアクセス工事についてお伝えするものです。)



工事監督員の声 [県道相馬亘理線]
(高見副主査：島根県からの応援職員)
現在、新地町では多くの工事が進められております。地域の皆さまや近接工事と調整を図り、一日も早い復興につながるよう施工者と協力し工事完成に取り組んでまいります。



相馬亘理線(高くなる道路への盛土工事を進めています)

新地IC部(料金所へのアクセス工事も概ね完成しています)



木崎地区海岸(新たな堤防を整備しています)

◆浪江町・棚塩地区北部の海岸復旧工事(消波ブロック)が完了しました。

相双建設事務所では浪江町内の海岸について棚塩地区、請戸中浜地区、浪江中浜地区の3箇所で復旧事業を進めており、10月に棚塩地区北部の消波ブロック工事が完了しました。

その他の地区では調査設計を実施中であり、順次、工事に着手してまいります。

また、請戸川や高瀬川についても、河川復旧工事に向けた調査設計を実施中です。



(完成した棚塩地区北部の消波ブロック)

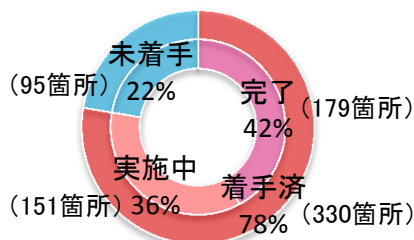


工事監督員の声「棚塩地区海岸(猪狩主査)」

海が荒れ消波ブロックの据付ができない日もありましたが、無事完了できました。これを足掛かりに、今後は南の区間へ着手し早期の工事完成を目指します。

◆その他の情報

◇震災等の災害復旧工事の進捗(H26.10月)



※対象は相双建設、富岡土木が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

◇県道原町川俣線

八木沢トンネルの掘削状況

H26.11.21現在、全長2,345mのうち南相馬市側から495m地点を掘削中。

(八木沢トンネルの公開状況: 11月21日)



(広野町駅東地区の公開状況: 11月19日)

◇報道機関へ復興工事の現場を公開しました。

福島県土木部では、日々、進捗する復旧・復興工事の現場状況を報道機関へ公開する取り組みを進めております。

県民の皆さまへ様々な現場情報をお伝える報道機関の方々と、工事内容や進捗状況について認識を共有し、今後の報道の基礎材料としていただくことを目的にしております。

今回、相双建設事務所では原町川俣線(八木沢トンネル)や新地町内、富岡土木事務所では広野町駅東地区などを公開し、記者の方から「とても良い取り組みである」、「復興の現場が動いている様子を感じることができた」などの意見をいただきました。

○次回は、「常磐自動車道部分開通に関連する情報」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)